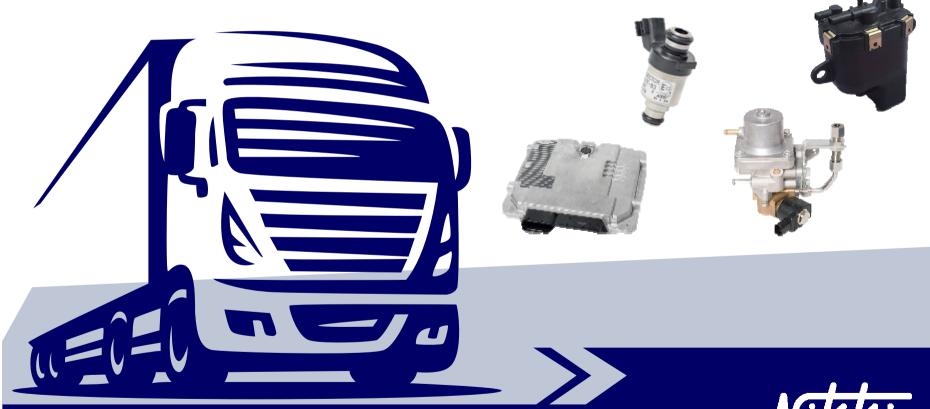


会社説明会資料

2018年9月21日





東証2部:6042

Copyright© Nikki Co.,Ltd. All rights reserved

Q1

ニッキって どんな会社?

Q2

業界での ポジションは?

Q3

ニッキの描く未来は?

Q4

ニッキの 株主還元策は?

ニッキってどんな会社?

市場: 東証2部 証券コード:6042



主に 天然・LPガス を燃料とするエンジンの

燃料供給システムメーカーです

環境に大きく貢献しています

本社は厚木市 海外6カ所に拠点













アメリカ

中国

インド

タイ

韓国

台湾



燃料供給システムとは?

ガソリンやガスなどを効率的に エンジンへ供給する仕組み





ガス機器 製品





汎用機器 製品

圧力計測

最適混合 圧力制御 (調圧) 燃料供給 燃料噴射 小型ECU モーター 技術 空気量調整 機能集約型スロットルボディ 燃料ポンプモジュール







ボート(小型船舶)

事業別売上高構成比 【2018年3月期】

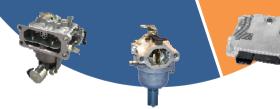


自動車機器 8.7%



連結売上高 汎用機器 9,185百万円 45.0%

40.4%









大型トラック・バス



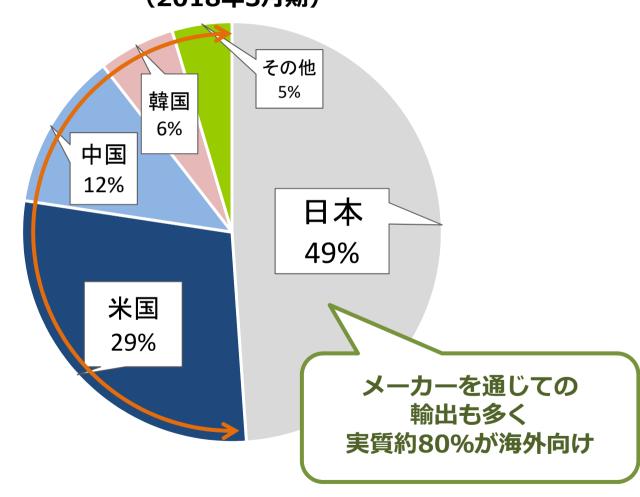
乗用車・バン・トラック



フォークリフト



地域別売上高構成比 (2018年3月期)





海外計

51.1%

伝統から革新へ



戦闘機用キャブレタ 中島飛行機向け 2連式70乙型



ダットサン用 D37Eキャブレタ



汎用電子制御噴射 システム

自動車用電子制御気

化器、自動車用ス



インジェクタ



LNGレギュレータ



新型小型ECU

・2006年

システムの製造

・2009年

・2014年 汎用電子制御噴射

LNG用1段式

・2017年

新型小型ECU レギュレータ開発

・2015年

・2017年 熱交換器開発

フューエル ポンプ

フューエルポンプ

・1963年3月 ・1946年

ロットルボディ開発 自動車用LPGキャブ

自動車・農業エンジン

レーション装置開発 用気化器、燃料ポンプ

を開発

・1967年

・1985年 船舶機用気化器を

・1982年

厚木工場を建設 開発

自動車・航空機工ン・1961年7月 ジン用気化器を開発 本計工場完成

・1932年2月 創立

・1933年3月



第1号キャブレタ NV-42



船舶機用 キャブレタ

・2001年 LPG電子制御気体 噴射システム開発

圧縮天然ガス燃料

システム開発

・1991年



ECU

ガス用トップフィード

インジェクタ開発

・2010年

CNG用1段式 レギュレータ開発



大型車用 CNGレギュレータ



【変革期】

【黎明期】

【発展期】

【転換期】



業界でのポジションは?

- 1 ガス専用(独自設計)部品を製造 (ガソリン部品からの転用ではない)
- ② 単品部品ではなくシステム供給が可能
- ③ 高度な制御技術システム (電動系へ発展)
- ④ 独立系であり、機動的かつ幅広い取引推進が 可能



燃料供給システムメーカーとの比較 (ガス機器)

	ECU	インジェクタ	レギュレータ	
Nikki	注 1	注2	(注3	天然ガス自動車向けに注力し、ガ ソリン部品からの転用ではない独 自設計のガス専用部品を製造。
A社	Δ	Δ		燃料噴射システムだけではなく、幅 広く自動車部品を供給。
B社	Δ	Δ	0	四輪が中心だが二輪の燃料噴射シス テムも供給。
C社		Δ	0	燃料ポンプモジュール、スロットル ボディが主力製品。
D社	0	0		世界No.1欧州メーカー

他社の追随を許さない性能を実現!!

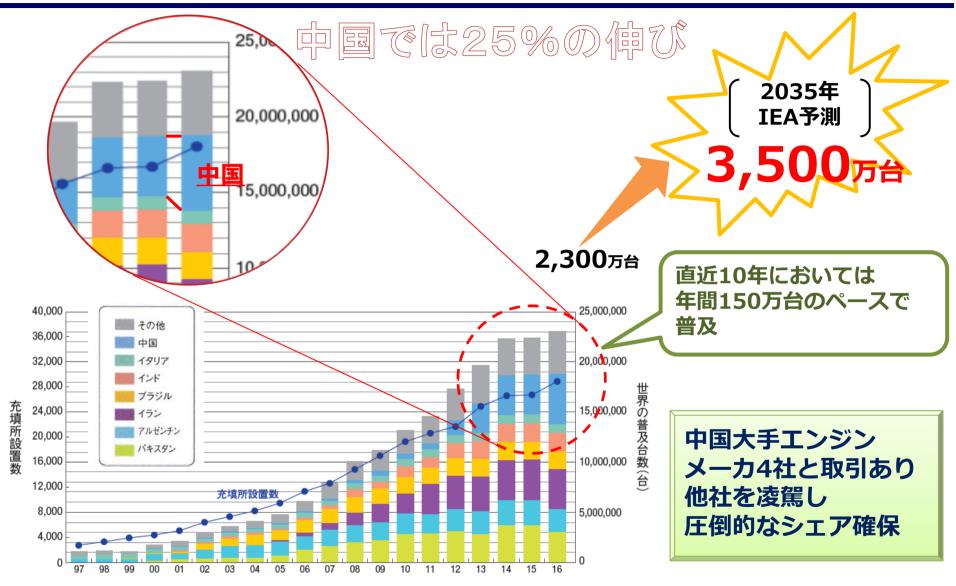
注1 ECU: ガスエンジン制御に特化、最適エンジン制御を実現。

注2 インジェクタ: 大型車へも対応可能な大流量設計。

注3 レギュレータ: 大型車もカバーする大容量と精密制御を両立。



マーケットの成長性 世界の天然ガス自動車普及台数

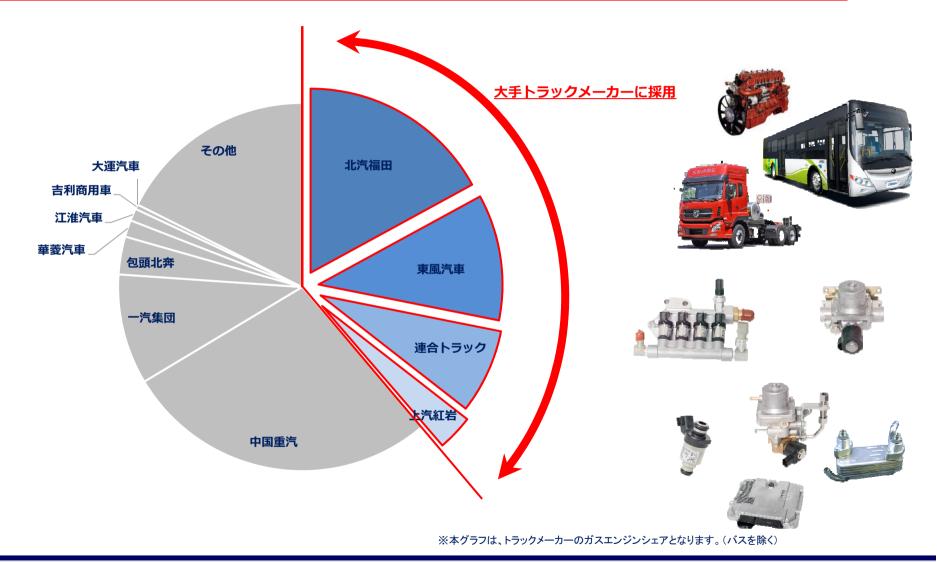






中国商用車マーケットにおける参入メーカー状況

大手自動車メーカーが採用しているエンジンに当社のガス関連部品が採用されています。





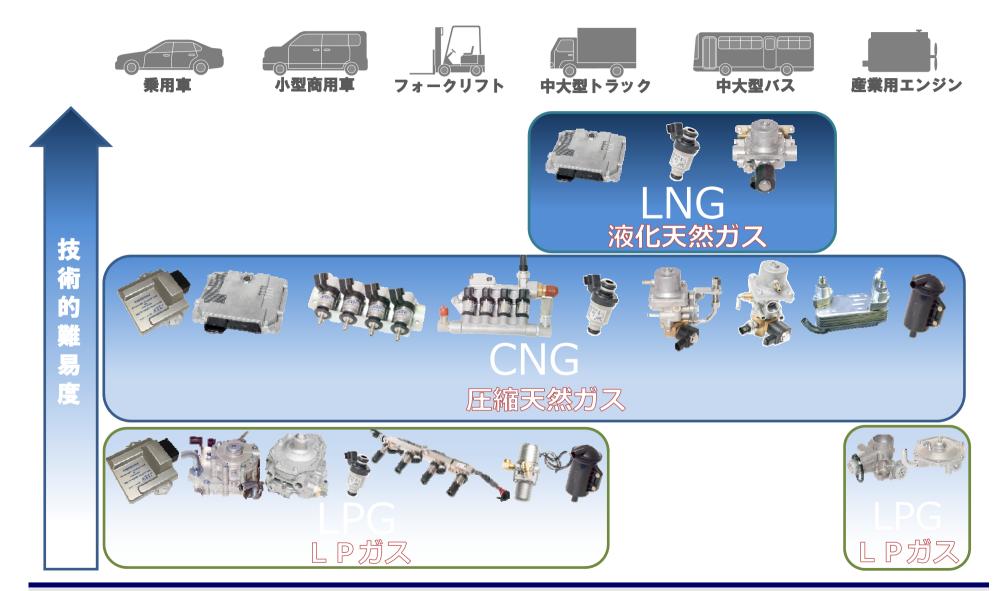
天然ガス自動車国別普及台数・マーケット進出時期

	国名	台数 (2017年2月)	当社製品納入時期		国夕	台数	当社製品納入時期				
			2015	2016	2017		国名	(2017年2月)	2015	2016	2017
1	イラン	4,068,632				14	エジプト	207,617			
2	中国	3,994,350				15	ペルー	183,786			
3	パキスタン	3,700,000				16	ウクライナ	170,000			
4	アルゼンチン	2,487,349				17	アメリカ	150,000			
5	インド	1,800,000				18	ドイツ	98,172			
6	ブラジル	1,781,102				19	ロシア	90,050			
7	イタリア	885,300				20	ベネズエラ	90,000			
8	コロンビア	500,000				21	ジョージア	80,600			
9	タイ	468,845				22	ブルガリア	61,320			
10	ウズベキスタン	450,000				23	マレーシア	55,999			
11	ボリビア	300,000				24	スウェーデン	46,715			
12	アルメニア	244,000				25	日本	44,676			
13	バングラデシュ	220,000				26	その他	157,260			
	•		•				合計	22,335,773			

出所:「The Gas Vehicles Report」2016年1月号「Asian NGV Communications」2017年2月号



マーケットニーズ対応・商品ラインナップ





ニッキが描く未来は?



100年に一度の大変革期 外部環境の変化をチャンスと捉え 挑戦する会社



脱ガソリン・脱ディーゼルへの対応



大型車 💙 天然ガスシステム対応

(既存差別化戦略の更なる展開)



乗用車・二輪・産業機器 → EV化・<mark>電動化</mark> (新たな事業戦略の展開)



外部環境の変化 ~脱ガソリン・脱ディーゼルの動向~

フランス:2040年

イギリス:2040年

ドイツ:2030年

インド:203X年

中国:202X年

日本: 2030年以降

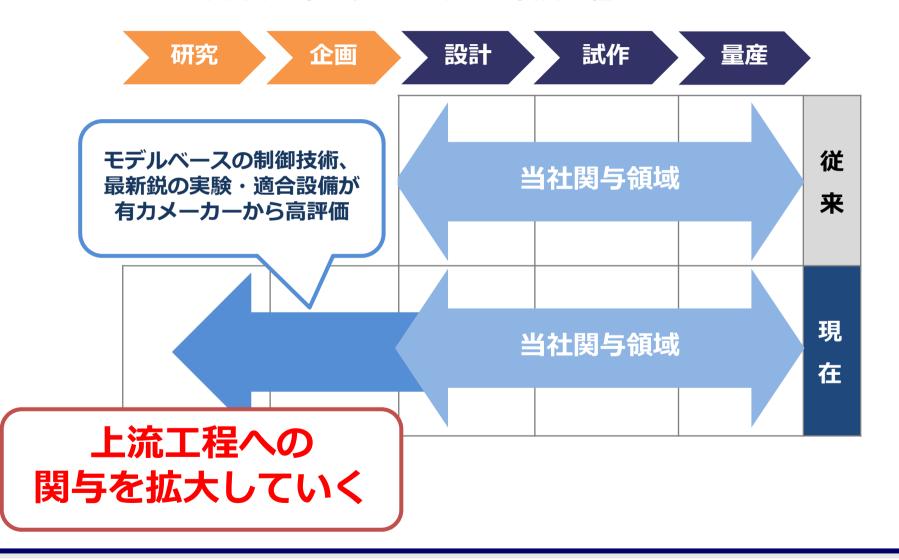
大型車 一天然ガス車

乗用車 💛 EV車



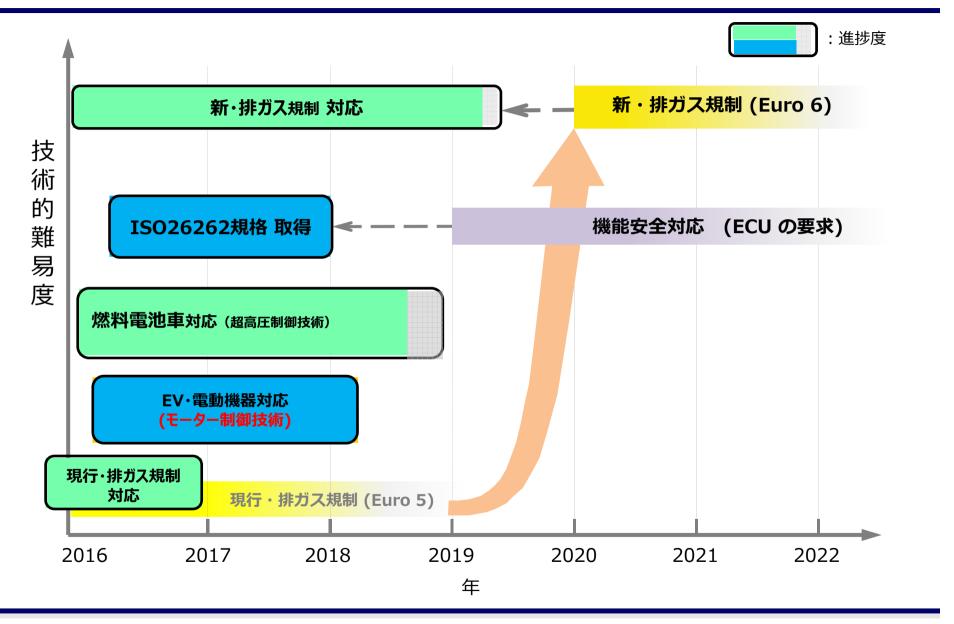
顧客ニーズへの先取り対応

く 自動車・トラックメーカーの開発工程 >





技術革新による新たなビジネス分野への対応





電動系ビジネスに向けた取り組み

Action 1

【電動系商品の事業開始予定】

- ①19年を目途に日本向けに 電動アシスト自転車
- ②20年を目途にアジア地域向けに 電動オートバイ

Action 2

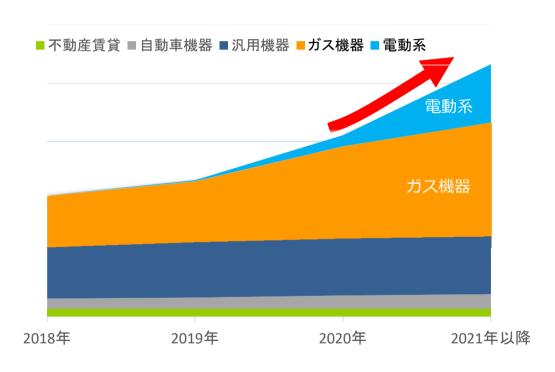
【電動系商品の拡大】

・モーター&ドライバーの開発・販売

Action ...

・その他電動系ビジネス

今後のセグメント別事業展開のイメージ



今後ガス機器と電動系を大きく展開



電動系ビジネスの戦略

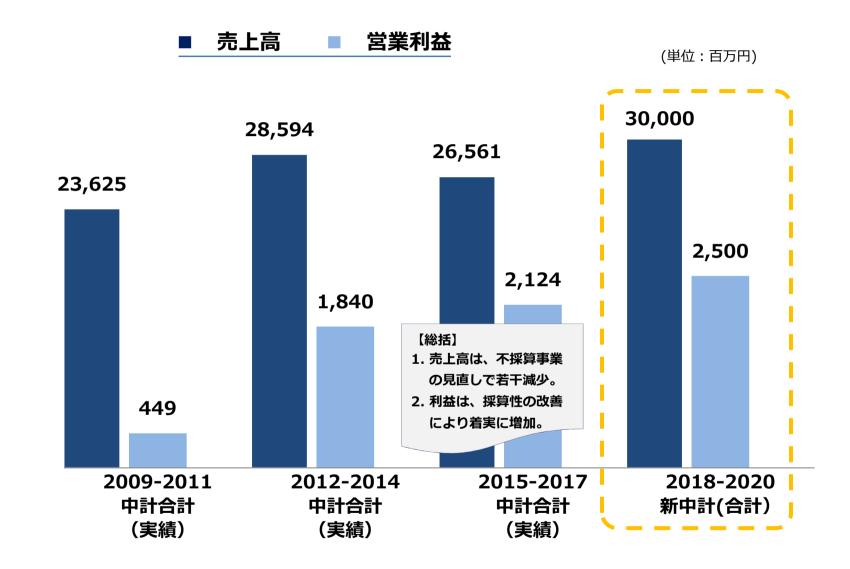
★電動系の新事業展開

電動アシスト自転車・電動オートバイ モーター&ドライバー etc

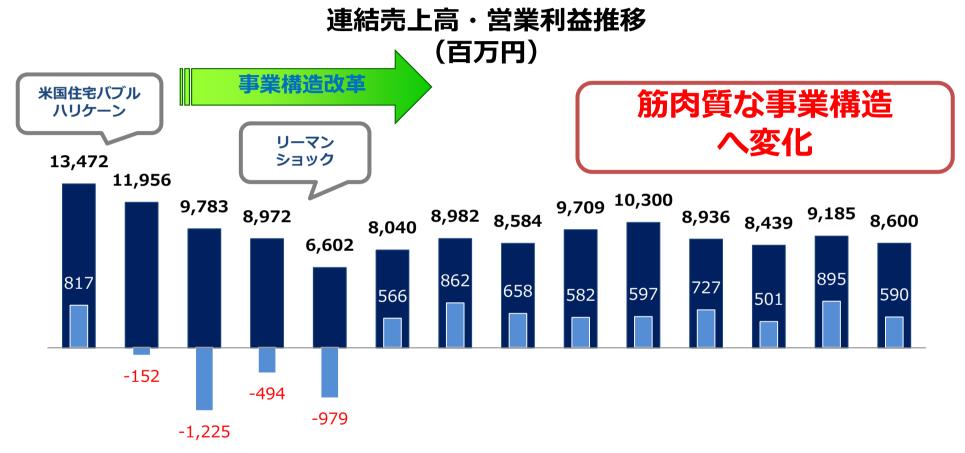


- ★二ッキの強み
- ・高度な制御技術のノウハウを活かし電動系へ発展

中期経営計画の総括と、新中期経営計画に向けて



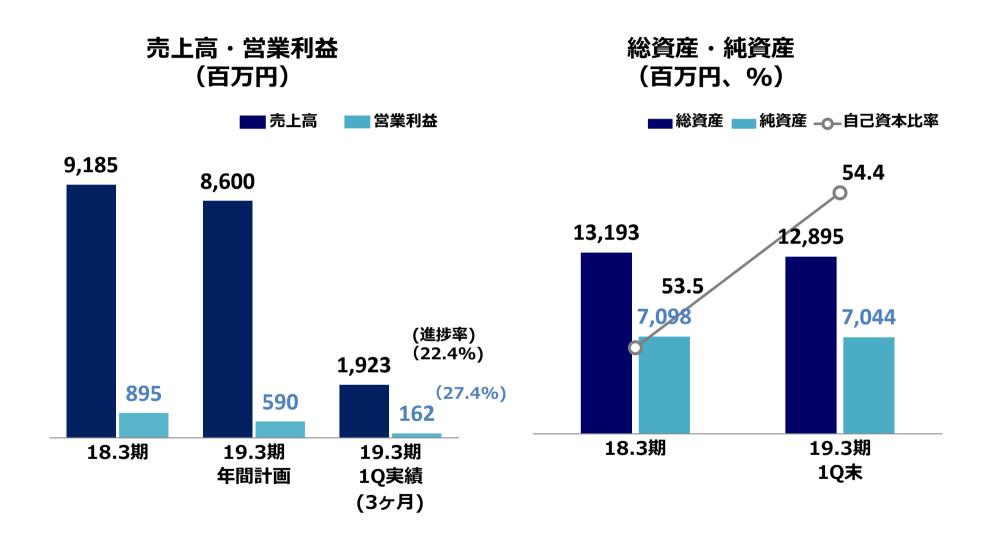




06.3期 07.3期 08.3期 09.3期 10.3期 11.3期 12.3期 13.3期 14.3期 15.3期 16.3期 17.3期 18.3期 19.3期 (計画)

■ 売上高 ■ 営業利益



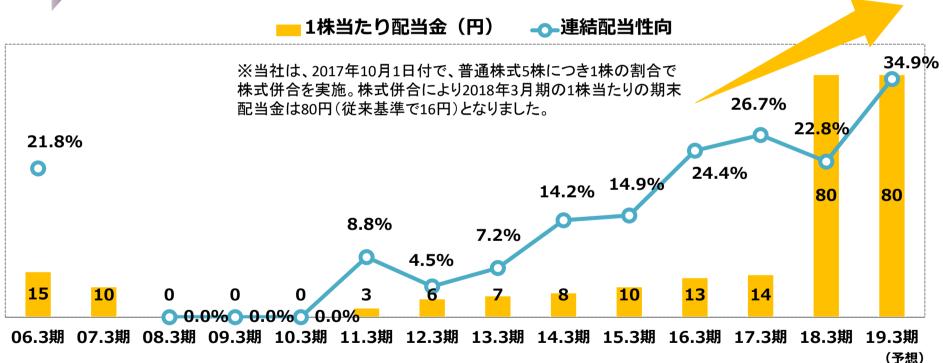




ニッキの株主還元策は?

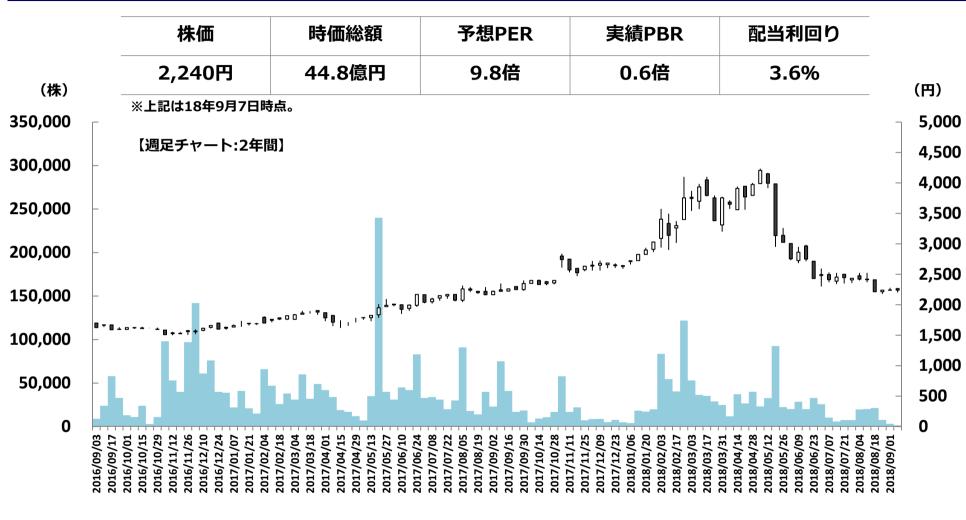


連結配当性向30%を目標



※07.3期は赤字のため連結配当性向は算出不可





ご清聴ありがとうございました。



参考資料



和田社長ってどんな人?

取締役社長 和田 孝 (わだ たかし)

1953年8月14日生まれ 大阪府出身



~経歴~

1978年3月 東京大学法学部卒業 1978年4月 株式会社横浜銀行入行 1985年9月 ペンシルバニア大学ウォートン校卒業

2004年3月 株式会社横浜銀行退社

当社入社

2004年6月 当社取締役営業部長

2005年2月 NIKKI AMERICA,INC社長 2007年6月 当社取締役社長(現職)

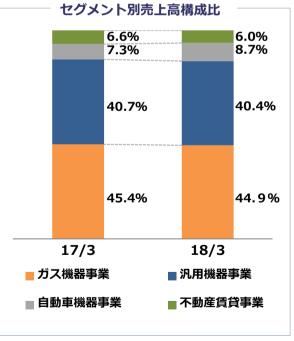
~趣味~

テニス・ウォーキング



「高品質な燃料供給システムで環境へ貢献」

商号	株式会社二ッキ						
所在地	神奈川県厚木市上依知3029番地						
資本金	500百万円						
代表者	取締役社長 和田 孝						
設立	1932年2月						
従業員数	625名(連結ベース、2018年3月末)						
事業内容	CNG・LNG・LPG燃料供給システムの設計・開発及び関連機器の製造船舶・小型エンジン用気化器及び燃料関連デバイスの設計・開発及び製造自動車用燃料関連デバイスの設計・開発及び製造不動産賃貸事業						
関係会社	 NIKKI AMERICA FUEL SYSTEMS,LLC、NIKKI AMERICA,INC. 瀋陽日新気化器有限公司 NIKKI INDIA FUEL SYSTEMS PRIVATE LIMITED、 NIKKI(THAILAND) CO.,LTD. NIKKI KOREA CO.,LTD.、 (株)ニッキ ソルテック サービス、ニッキ・テクノ(株) 						





ニッキのこれまでの歩みは? (伝統から革新へ)

1932年に日本初の 気化器メーカーとして創業

1930・40年代



第1号キャブレタ NV-42



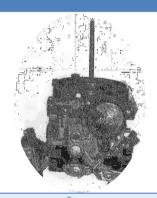
戦闘機用キャブレタ 中島飛行機向け 2連式70乙型

【黎明期】 機械式技術の確立・成熟 外部環境の変化に **技術開発力** で対応

1950・60・70年代



ダットサン用 D37Eキャブレタ



プリンス グランドグロリア用 キャブレタ

【発展期】 モータリゼーションの対応

ガソリン から 天然ガス へ

1980・90年代













Briggs&Stratton M-28用 G型 キャブレタ 天然ガス自動車用 2段減圧レギュレータ (噴射システム用) 天然ガスエンジン用 電子制御ユニット (ECU) 天然ガス自動車用1段減圧レギュレータ(噴射システム用)

天然ガス自動車用 トップフィード インジェクタ

【転換期】

【変革期】 ガス分野における 差別化技術の確立



事業部門の構成と製品

事業セグメント	ガス機器事業	汎用機器事業	自動車機器事業	不動産 賃貸事業
市場	東南アジアや東アジアへの輸出が 中心。今後、北米、ロシア、イン ドネシア、中東等を開拓	米国向けが多く、芝刈り機・発電機 用が約7割を占める。発電機需要の発 掘、噴射システムの推進	東南アジア、中東への輸出	東京都品川区に オフィスビルを 所有
主要顧客	GM Korea (韓) いすゞ自動車 日野自動車 広西玉柴機器 (中) 上海ディーゼル (中) 中国重汽 (中) 三菱ロジスネクスト	Briggs & Stratton(米) Kohler Company(米) 川崎重工 SUBARU 光陽工業(台湾) Cummins Power Generation(米)	日産自動車 トヨタ自動車 マツダ WABCO(印) RANE(印)	
製品	■ 国内外のCNG・LPG車・フォークリフト向けの燃料供給システム(ECU、インジェクタ、ベーパライザ、レギュレータ、熱交換器、フィルタ、ミキサ等)	■ 汎用気化器(農業用、産業用)、 船舶用気化器、二輪車向け噴射シ ステム、フューエルポンプモ ジュール等	■ 国内外のガソリン車 用のスロットルボ ディ、気化器、アク セルワイヤユニット 等	
生産拠点	日本、中国、タイ	インド、中国、米国、日本	日本、インド	



当社の不動産について

■ 保有不動産からの安定収益

保有資産の概要

名称 3号館ビル

所在 東京都品川区北品川5-11-3

土地面積 4,959.08㎡(うち62.0%)

建物構造 鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート造

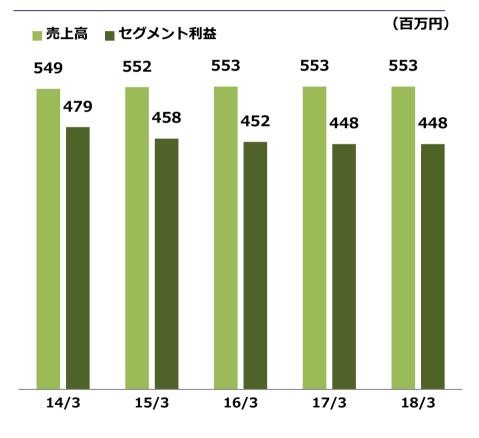
陸屋根地下2階付8階建

建物延床面積 20,582.71㎡ (うち62.0%)

竣工年月 1996年10月



不動産賃貸事業推移





2019年3月期第1四半期末 連結貸借対照表の概況

(単位:百万円、下段は構成比)

		2018年3月期末	2019年3月期第1四半期末			
				前期比増減額	主な増減要因	
	流動資産	6,991 (53.0%)	6,912 (53.6%)	▲ 78	【流動資産】 ・現金及び預金 +483	
	固定資産	6,202 (47.0%)	5,982 (46.4%)	▲219	・受取手形及び売掛金 ▲400 ・電子記録債権 ▲173 【固定資産】	
資産	全計	13,193 (100.0%)	12,895 (100.0%)	▲298	・機械装置及び運搬具 ▲76 ・投資有価証券 ▲74	
	流動負債	4,061 (30.8%)	3,873 (30.0%)	▲187	【流動負債】 ・支払手形及び買掛金 ▲167	
	固定負債	2,033 (15.4%)	1,976 (15.3%)	▲ 57	・電子記録債務 ▲97 ・賞与引当金 ▲64 ・その他 +267	
	負債合計	6,094 (46.2%)	5,850 (45.4%)	▲244	【固定負債】 ・退職給付に係る負債 ▲29	
	純資産合計	7,098 (53.8%)	7,044 (54.6%)	▲ 53	・その他有価証券評価差額金 ▲51・利益剰余金 +56	
負債・純資産合計		13,193 (100.0%)	12,895 (100.0%)	▲298	・為替換算調整勘定 ▲58	
ネット有利子負債		▲ 674 (▲ 5.1%)	▲ 1,163 (▲ 9.0%)	▲ 488		

※ネット有利子負債=(短期借入金+長期借入金)- (現金及び預金)



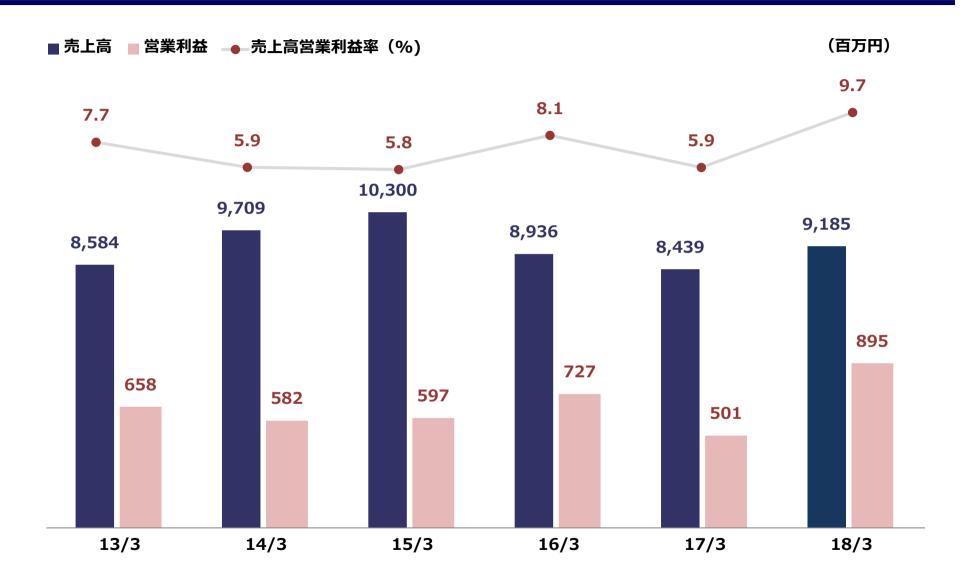
2019年3月期 連結損益の見通し

(単位:百万円)

	2018年3	月期実績	2019年3月期計画						
		構成比		構成比	前期比				
売上高	9,185	100.0%	8,600	100.0%	▲6.4%				
営業利益	895	895 9.7% 590		6.9%	▲34.1%				
経常利益	892	9.7%	580	6.7%	▲35.0%				
親会社株主に 帰属する当期純利益	657	7.2%	430	5.0%	▲34.6%				
設備投資額	266	2.9%	461	5.4%	73.3%				
減価償却費	646	7.0%	621	7.2%	▲3.9%				



連結業績推移 (1)



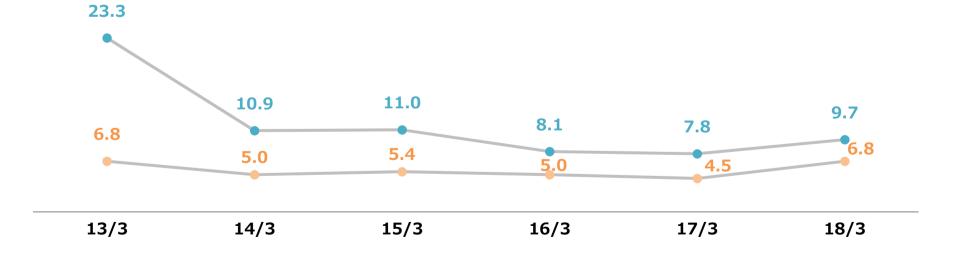


連結業績推移 (2)

■総資産(百万円) ■純資産(百万円) 自己資本比率(%) 53.5 **50.4** 47.2 44.8 40.7 39.1 13,807 13,193 13,085 12,911 12,816 11,557 7,098 6,624 6,309 6,228 5,334 4,594 13/3 18/3 14/3 15/3 16/3 17/3

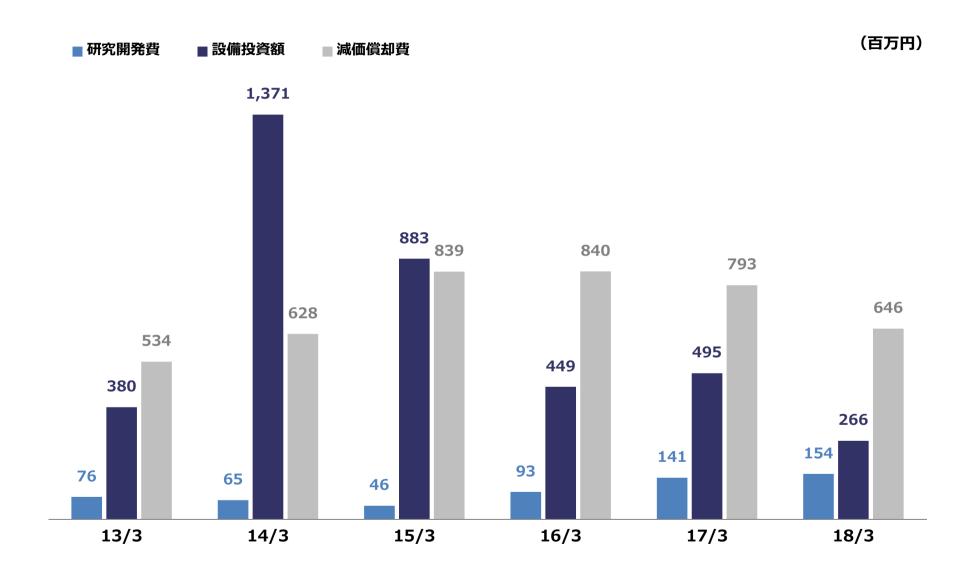


----ROE(自己資本当期純利益率) -----ROA(総資産経常利益率) (%)



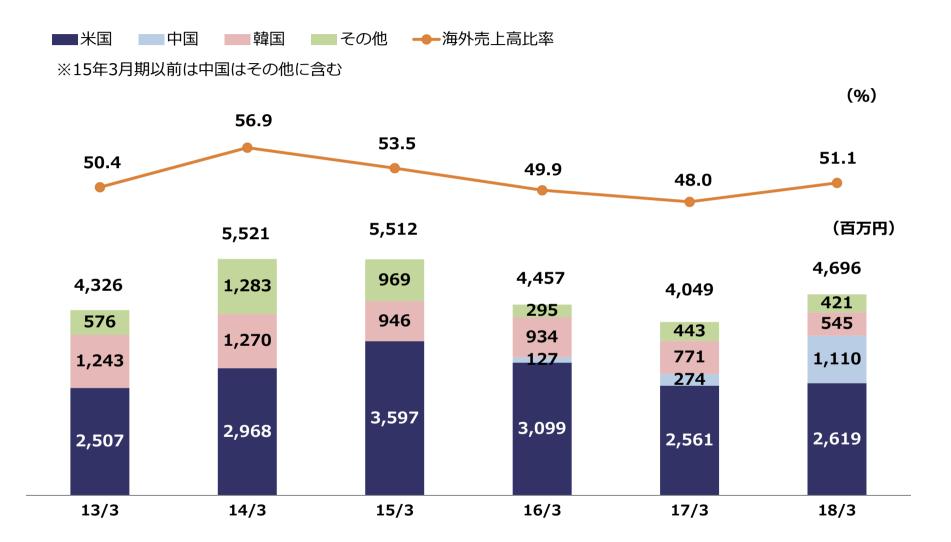


研究開発費・設備投資額・減価償却費の推移





海外売上高推移





『二ッキフィロソフィ』

ニッキグループのメンバー全員が、あらゆる行動の基本として、大事に思い追求していく考え方として、ニッキフィロソフィを定めております。

- 1. 多様化するエネルギー資源の有効活用に役立ち、環境保全に寄与する燃料供給システムの開発・製造を行い、社会に貢献する。
- 2. 品質、性能、価格の基準だけでなく、プラスアルファの付加価値を増強する。
 - グローバルなステージでのお客様や市場との率直な対話、コミュニケーションの実践と深化を通じて、商品・サービスに新たな価値を付与する。
- 3. 勉強しよう、成長しよう。 たゆまぬ挑戦を継続実践し、事業活動を通じて一人一人が成長し、 共に成果を確かめ合い、充実感を味わおう。

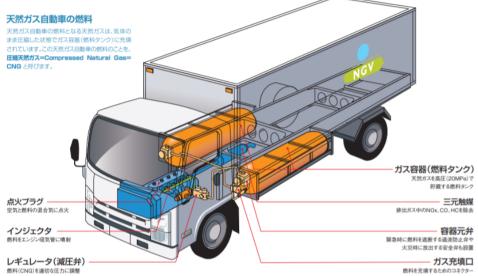


(ご参考) 天然ガス自動車の構造と特徴

天然ガス自動車(CNG車)の構造(トラック)

天然ガス自動車はシンプルな構造で実用的

天然ガス自動車の構造はガソリン車とほぼ同じで、異なるのは燃料供給系のみです。高圧ガスを充填する容器は衝突テストや 火災テストにより安全性も実証されています。また、アイドリングストップ機能を持つ天然ガス自動車も設定されており、より 一層の環境負荷の低減と燃料消費の抑制も実現しています。



CNG (Compressed Natural Gas) 車: 天然ガスを気体のまま、高圧 (20MPa) でガス容器に貯蔵する車両 LNG (Liquefied Natural Gas) 車: 天然ガスを液体状態 (-162℃) で、超低温容器に貯蔵する車両



出所:日本ガス協会

CO2排出量が少ない

COe排出量を1~2割カット

〒然ガスは、ガソリン・軽油などの燃料に対して、単位発熱量あたりのCO₂排出量が約25%少ない燃料です。



2 現在、都市内を走行している 天然ガス自動車をガソリン 車と比較すると1~2割の CO2排出量削減効果があり ます。



3 大型トラック(車両総重量 12t超クラス)の平成27年 度燃費基準適合ディーゼル自 動車と比較して、高速走行を 主体とした使用方法により、 概ね10%以上のCO2排出 削減が可能な大型天然ガスト ラックが販売されています。 天然ガス自動車とディーゼル車のCO₂排出量比較





- 本資料は株式会社二ッキ(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- □ また、経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社二ッキー総務部経理課

TEL: 046-285-0228 / E-mail: ir@nikkinet.co.jp

